

「大森八景坂景観形成重点地区の追加指定に伴い、池上通り(特例都道421号線)を景観重要公共施設に追加指定(赤枠)



①道路

(j)池上通り(東京都)(特例都道421号線 山王口交差点から闇坂)

池上通りのうち、八景坂が含まれる大田区山王二丁目地内の延長約530mの間は、令和6年2月に都市計画事業認可を取得し、都市計画道路補助第28号線の整備事業に着手しております。



本区間が整備されることにより、自動車交通の円滑化が図られるとともに、安全で快適な駅前空間の創出や交通結節機能の強化、防災性が向上します。また、歩行空間のバリアフリー化や無電柱化等の改善を図るなど、安全で快適に利用できる道路空間を目指しています。

これらを踏まえ、沿道の商店街等との親和性、一体性に努めるとともに、ゆとりのある歩行者空間を形成します。



②河川

(a)多摩川(国)(多摩川の河川区域)

多摩川は大田区を縁取るように流れる河川で、開放的な空間と緑豊かな環境は、多くの区民や来訪者に親しまれています。「多摩川水系河川整備計画」(直轄管理区間編)等に基づき、河川や周辺環境が織りなす個性的な魅力づくりに配慮した整備や、生態系に配慮した自然環境の保全を図り、多摩川らしい河川景観の保全に努めます。



(b)呑川(東京都)

大田区の中央部を流れる呑川は、台地部から低地部、そして東京湾へと、区を横断する河川です。台地部の住宅地では随所にサクラ並木や小公園、広場等が整備され、身近な水辺として多くの人に親しまれています。また低地部の蒲田駅周辺では、川幅も広く建ち並ぶビル群の中の貴重なオープンスペースとなり、河口部では、周囲に工場が立地し、水量も多く海風が香るなど海を感じさせます。それぞれの地域特性を活かし、川沿いの緑道整備とともに「風の道」としての身近な水や緑が親しめる連続性のある景観を形成します。

(c)内川(東京都)

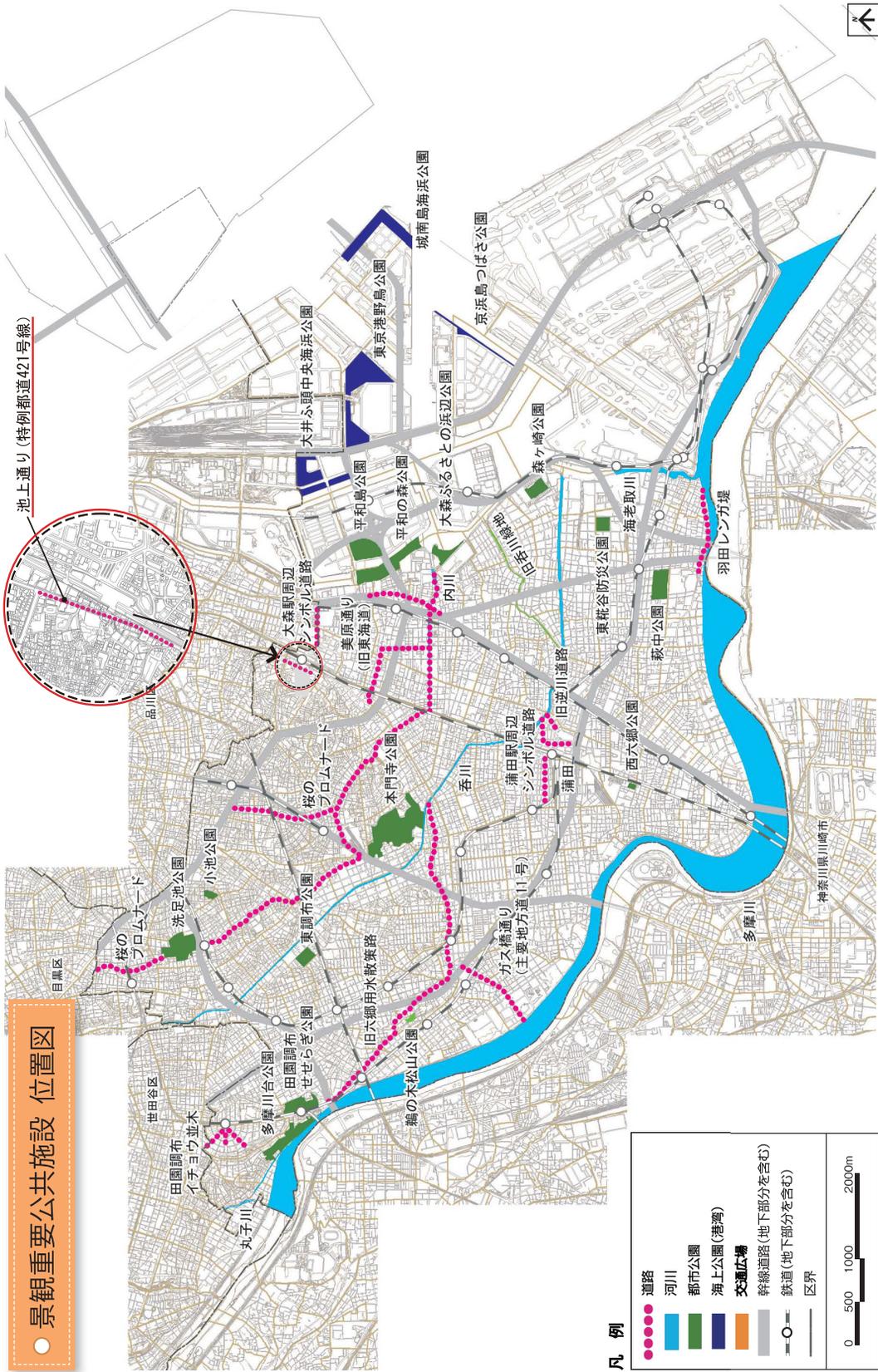
内川は、かつて海苔船や漁船が行き交い、住民の生活との結びつきが強い川でした。「内川河川整備計画」に基づき、人々が水辺に親しみ自然とふれあえる河川として桜のプロムナードとしての管理用通路の緑化や生態系に配慮した自然環境の創出など、親水性を感じられる景観を形成します。



(d)海老取川(東京都)

海老取川は全川が感潮域であり、干潮時に一部露出する干潟は動植物の貴重な生息・生育・繁殖環境となっています。また、左岸側の管理用通路の一部区間は区民に解放され「海辺の散策路」に指定されています。今後は、「海老取川河川整備計画」や「羽田空港跡地利用OTA基本プラン」に基づき、親水空間の整備や河川の緑化整備などにより、水と緑のネットワークによる景観を形成していきます。

位置図に池上通り（特例都道421号線）を追加(下線部)



景観重要公共施設及び景観重要建造物・樹木の指定

大森八景坂景観形成重点地区の追加指定に伴い、地区名称を大森駅周辺から大森駅東口周辺に修正 及び、大森駅西口に関する内容の削除（赤枠）

(2) 景観形成重点地区の追加指定等の推進

- 第2章で示した、4つの景観形成の基本方針を踏まえ、下表に示す5地区では、まちづくりの進捗を捉えて、景観まちづくりを推進し、景観形成重点地区等の指定を検討していきます。また、下表に示す5地区以外についても、景観まちづくりへの機運が高まった場合、必要に応じ検討の対象としていきます。

■景観形成重点地区等の追加指定を検討する地区

地区	景観特性やまちづくりの動向
蒲田駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ●JR蒲田駅を中心に商店街が面的に広がり、小規模な店舗と大型小売店舗が混在し、にぎわいのある商業拠点となっています。 ●京急蒲田駅では市街地再開発事業を控え、駅周辺の景観が大きく変わることが想定されています。 ●平成22年3月に「蒲田駅周辺地区ランドデザイン」が策定されています。
大森駅東口周辺	<ul style="list-style-type: none"> ●大森駅東口は、駅前広場中心に商業業務施設が連なるとともに、アーケード街などの回遊性のある商店街があります。 ●平成23年3月に「大森駅周辺地区ランドデザイン」が策定されています。
南北崖線 (池上本門寺周辺及び山王周辺)	<ul style="list-style-type: none"> ●武蔵野台地東端の崖線の一部である南北崖線は、荏原台及び久が原台という2つの台地に分かれており、さらに台地の間に呑川が流れていることから、同じ崖線沿いでも地域によって特性が異なります。 ●南北崖線に沿って、池上本門寺や馬込文士村などの歴史資源や山王周辺などの緑豊かな住宅地が点在しています。 ●池上本門寺周辺及び山王周辺においては、地域住民によるまちづくりが進められています。
美原通り (旧東海道)	<ul style="list-style-type: none"> ●旧東海道という歴史を活かした地元商店街による景観整備の取り組みが進められています。
羽田地区	<ul style="list-style-type: none"> ●漁師町の面影を残し、路地と宅地内の緑が特徴的な景観をつくりだしています。 ●安心・安全のまちづくりとして、防災まちづくりが進められています。

(3) 大規模開発における景観形成誘導

- 大規模な土地利用転換である羽田空港跡地など、周辺の環境に大きな影響を及ぼす大規模な開発が想定される場合には、区民の意見を取り入れつつ、関係事業者と区が協働し景観形成に取り組めます。